

かわぐち

2002. 5月号 No.344

今月号の主な内容

- 町民憲章・シンボルマーク決定……………2
- 食のフォーラムを開催……………3
- 町営バス運行はじまる……………4
- 農業構造改革への挑戦……………5
- 介護予防・生活支援事業実施しています ……6～7
- キャンパス川口オープン……………8
- 地域子ども活動支援事業がスタート……………9

ほか



かわぐち歴史探訪 ② 中林家旧記

江戸時代、三国街道の川口宿本陣である中林家には「家景略記」が伝えられています。

林掃部正重昌（重義）という初代に当たる人は南北朝時代に、今川家の相模の国に八万石余で仕えていたと言われています。

元弘の乱（一一三三）で今川家を退散して、関東に逃れ、北陸の間道をたどり、越之後州蕨神之庄上川の郷喜和田久保へ城郭を構え立てこもったと言われます。

この間、重昌は新田側の家来として各地を転戦したようです。戦乱の世の中で、越後の国も南朝、北朝に分かれて非常に混乱していました。重昌は戦争の功績

が認められて新田義貞の義の一字をもらい重義と名を改めたのだそうです。

新田義貞が延元三年（一一三三）越前で戦死したために重義は帰郷したのだ……としています。

この後、林重義は足利勢から逃れるために、喜和田久保を離れ、家来にひまを出し川口の北、今の松沢へ妻子ともども移住しました。

これを田城と言います。喜和田久保とはどこかと言う問題もあるのですが、山の相川がそうではないかと思われています。用人には黒島太郎、番頭に高橋六兵衛がおり、山の相川に居住す、としています。

あとがき

はじめまして！この4月から、広報かわぐちを担当することになりました。未熟ではありますが、よりいっそう「親しまれる広報誌」をみなさんと一緒に作っていきたく思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

ある晴れた日、「表紙を飾る、桜の写真を探りたい」と町内をまわって見ましたが、なかなか満足のいく写真が撮れません。途方にくれながら木沢に行ってみたら、ちょうど山菜が採れ始めた時期で、思わず少しごちそうになってしまいました。もう桜は散ってしまいました。まだまだ春は楽しめそうです。

▼木沢といえば表紙にもなった「元気祭」。町中からたくさんのお客様が集まって「元気を分けてもらったよ」という声が聞かれるほど大盛況でした。広報誌作りにも私ども元気をもらって「よし、がんばるぞ」と気合いを入れ直した1日でありました。

木沢元気祭



木沢産の「元気」を町中に発信！

4月21日、元気な木沢とその魅力を多くの町民の皆さんから知ってほしいと、木沢の女性有志でつくる「ぎしばりの会」（会長 小林美知江・会員16名）が第2回の「木沢げんき祭り」を開催。

最後に披露されたよさこいソーラン踊りでは、訪れた観客から大きな拍手が鳴り響き、アンコールの声もでるほどの盛況振りでした。

町民憲章・シンボルマークが決定



▲左から 水落さん、星野町長、彦根さん、細川さん

このほど一般公募していた町民憲章、シンボルマークが決まり、4月19日役場において表彰式が行われました。

これは「豊かな自然との共生」を基本理念に、個性溢れるまちづくりの象徴として広く活用するため、募集していたもので、県内外から、町民憲章は14点、シンボルマークは140点の応募がありました。

町民憲章では、最優秀賞に水落裕子さん（大形）、シンボルマークでは、ベストデザイン賞に彦根正さん（東京都町田市）の作品が選ばれました。

町民憲章では、しなやかな表現とわかりやすい文章で、最優秀賞を受賞した水落さんは「広報で募集していることを知り、町の過去・現在・未来をつなげて考えました。最優秀賞に選ばれてとても嬉しい」と語っていました。

一方、躍動感のある作品で、シンボルマークのベストデザイン賞を受賞した彦根正さんは、「インターネットで募集のことを知り、

仕事柄グラフィックデザイナーに挑戦してみました。これからは川口町から目が離せなくなりそうです」と語っていました。

雪洞火ほたる祭シンボルマークも決定

このほか、冬のイベント雪洞火ほたる祭からイメージしたという細川豪志さん（豊栄市）の作品が特別賞に選ばれました。町では、今後、雪洞火ほたる祭のシンボルマークとしてPR用に活用していく予定です。

◎川口町シンボルマーク

▼ベストデザイン賞



「K」の文字をモチーフに信濃川と魚野川の水しぶきと緑豊かないきいきとした町の姿を表現し、赤いリングは町民の連帯と和を表象。

▼特別賞

（雪洞火ほたる祭シンボルマークデザイン賞）



赤は雪洞火ほたる祭の炎、青は信濃川と魚野川に囲まれた潤いのある越後川口を表現。またマーク全体で「川口」の文字を表象。

川口町町民憲章

大河信濃川と清流魚野川の出合う緑豊かな私たちの川口町。この町に住むことに喜びと誇りを持ち、確かな明日へとつなぎつづけるための道しるべとしてこの憲章を定めます。

- ・豊かな自然と共生し心やすらぐ町に
- ・出会いと交流を大切に人情あふれる町に
- ・働く喜びに満ち健康でうるおいのある町に
- ・風土、歴史、文化に誇りと自信を持ち、町民に夢のある町に
- ・互いに学び、高めあう希望のある町に

食をテーマにフォーラムを開催します

朝食抜きや不規則な食事、偏った栄養摂取、個食化、ファーストフードへの依存など、大人だけでなく子どもたちの食生活の変化が進んでいます。

子どもたちの健康状態は？

平成9年度から実施している、町内の保育園児を対象にした「子どもの生活・食事実態調査」によると、毎年のよ

うに「就寝時間が遅い」といった生活面の傾向のほか、「ジュースや菓子類が多い」「かまない」「野菜が全体的に少ない」など食事面で気になる傾向が現れています。

また、「川口町学校保健統計」（川口町学校保健会）によると、児童・生徒の健康状態では、う蝕、歯周病、肥満傾向などが被患率の高いものの上位を占めています。

これからは、生活習慣病の予防のためにも、子供のころからより良い食習慣を築いていくことが求められます。一方で、高齢者は、健康寿命の延伸を図るためにも、低栄養になりがちな問題を解消し、食を通じた介護予防・生活支援のあり方が今後の課題といえます。

食は生きる力を

生み出すいのちの源

食生活の変化からさらなる生活習慣病の増加が懸念され

かわぐち学びの里大学
食といのちを考えるフォーラム

とき 6月2日（日曜）13時～16時
ところ 交流体験館「杜のかたらい」**入場無料**

■基調講演 「豊かな人生はよりよい食生活から」
食生活アドバイザー 宗像伸子
【プロフィール】
女子栄養短期大学専攻科卒業・管理栄養士。帝国ホテル岩本クリニックなどの栄養コンサルタント、成人病予防のための料理サロン開催のかたわら、正しい食生活のあり方を中心に全国各地で講演。NHK番組くらしのジャーナル「健康スペシャル」「きょうの健康」などに出演。

■パネルディスカッション 「いま食の果たす役割とは」
コーディネーター 大江 秀夫（北里大学保健衛生専門学院専任講師）
パネラー 本間 伸夫（県立新潟女子短期大学名誉教授）
元波美和子（川口町立川口小学校栄養主査）
星野 和久（川口町長）

◎おいしい食事で健康づくり。フォーラムの開催に合わせ、6月2日生涯学習センターで次のとおり行います。ご参加ください。

- 郷土料理味じまんコンテスト（10時～11時）
・我が家の自慢料理を持ち寄ってのコンテスト。素材は自由です。
- おいしいクッキング（9時30分～11時30分）
・小学生対象（親子で参加できます。）、参加費1人300円。
※詳しくは、チラシ等をご覧ください。

■問い合わせ 生活福祉課、農村振興課、教育委員会

旬の食材を使った伝統的な食文化（米食や日本型食生活）や地産地消など食の果たす役割が大きくクローズアップされてきています。

安心、安全な食の根っこは「農」であり「土」であり、農業の振興と環境問題もまた私たちの健康を支えてくれる大切な基盤です。

フォーラムを開催

町では、食育の大切さ、安心安全な食と地産地消の推

進、郷土の食文化をテーマに、次のとおり「食といのちを考えるフォーラム」を開催します。これからの「食」と「健康」、「農」のあり方について考えてみませんか。

よりよい生活交通体系の確保をめざって 町営バス運行はじまる

4月1日からスクールバス等への乗り合いや、循環路線バス（スクールバス等の空時間活用）、乗り合いタクシー（9人乗りバス）からなる町営バスの運行が始まりました。

今までは、路線バスが運行されていない地域の生活交通手段確保のため、町の補助により町内循環



小高—川口温泉線（大形バス停）

路線バス（川口温泉行き3路線）と廃止代替路線バス（田麦山行きなど2路線）を運行していたほか、福祉や医療の目的で福祉タクシーを運行していました。
平成13年度、利用者からのニーズを踏まえ、経済的、効率的な運行と更なる利便性向上を図るため、運行経路・形態（直営、委託等）・回数等の見直しを行い、今回町営バスとしてスタートしたものです。

運行開始後1か月が経ち、利用される皆さんから喜びの声や運行時刻、料金などについてさまざまなご意見をいただいています。
今後これらについて早急に対応するもの、9月からの本格運行で対応するものなど、8月までの試験運行を行う中で整理して、より良い生活交通体系を目指し検討を重ねる予定です。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ
企画商工課 ☎ 89-3112

ご利用ください！

町営バスの運行のお知らせ

町営バスは次の路線で運行されていますので、多くの町民の皆さんからご利用いただきたいと思えます。詳しくは、先に配布した「町営バス・乗合タクシー運行のお知らせ」をご覧ください。

★スクールバス乗合便（スクールバスの登校・下校時に一緒に乗れます）

- ① 田麦山線（小高—田麦山—相川—ぬくもり荘—役場）
- ② 木沢・峠線（峠—川口温泉（下校時のみ）—ぬくもり荘—役場）
- ③ 相川・荒谷線（荒谷—相川—武道窪—川口駅角—ぬくもり荘）
- ④ 牛ヶ島線（牛ヶ島—新道一貝之沢（登校時のみ）—川口駅角（下校時は役場から出発））
- ⑤ 西川口線（西倉—中新田—原新田—荒屋—岩出原—山ノ相川団地—ぬくもり荘—役場）

※①から⑤は土曜・日曜・祝祭日及び8月15日・16日、12月31日から1月3日を除く毎日運行します。

★循環路線バス・乗合タクシー（9人乗りバス）

- ① 峠—川口温泉—ぬくもり荘線（町内循環バス）
峠—木沢—牛ヶ首—竹田—川口温泉—中山—ぬくもり荘—川口駅角
 - ② 荒谷—ぬくもり荘—川口温泉線（町内循環バス・乗合タクシー）
荒谷—相川—武道窪—一貝之沢—川口駅角—ぬくもり荘—中山—川口温泉
 - ③ 小高—川口温泉線（町内循環バス・乗合タクシー）
小高—田麦山—小北入口—内ヶ巻—岩出原—ぬくもり荘—川口温泉
- ※①から③は土曜・日曜・祝祭日及び8月15日・16日、12月31日から1月3日を除く毎日運行します。
- ④ 和南津—川口温泉線（乗合タクシー）…水曜日のみ運行（祝祭日の場合は運休します。）
八郎場—和南津—野田—川口温泉

相川地区、和南津地区

農業構造改革への挑戦はじまる

昨年から進めてきました農業構造の改革は、地域の問題を地域の住民自らが話し合い、検討・研究を行うことを基本として、町と農協で各地域に
出向き、懇談会を開催してきました。
その結果、相川地区では検討委員会である「相川農伸会」を結成、和南津地区では特産化作物栽培が始まるなど、各地域で農業構造改革へ向けて動き始めました。

相川農伸会

相川農伸会は、20代から60代で構成され、専業、兼業農業者及び婦人の代表が集まり、月2回の検討会を実施しています。

検討会の内容

- ・地域の現状分析
- （土地、作物、機械設備、人、販売、地域環境等）
- ・地域の農地利用状況
- （田・畑の分布図を作成）

視察研修（能生町・高倉地区）

集落営農による農地の保全と共同事業及び特産品「越の丸ナス」による農家所得の安定策等の実態調査について視察研修をしました。

和南津地区

特産化作物栽培はじまる

今後は共同作業や機械の共同利用及び協業化の可能性、また特産作物の研究などを進め集落の魅力づくりとあわせてその活動が期待されています。
町では、今後の集落営農に向けて根強く話し合いの場を開催していきますので、農家の皆さんのご協力をお願いします。

新鮮な野菜の販売を行う農産物直売所の開設により、多品目の品揃えが必要であることがわかってきました。
このような中で価格が比較的安定していて、水稲生産との作業時期の分離を実現できる作物として、「いちじく」が選定されました。

このため直売出荷農家に呼びかけ、和南津地区の農家が説明会や視察等を実施した結果、今年度から生産組合を結成し栽培を実施することになりました。



先日、相川農伸会で津南の雪下にんじんを生で試食しました。噛んでいると甘い栗のような味がして、雪の力を再認識しました。川口町も雪はたくさんあります。雪を活用した作物の栽培や付加価値を検討していきたいと考えていますので、意見や提言がありましたら農村振興課までお知らせください。

また多くの方からの直売施設への参加、出荷をお待ちしていますので、気軽にご相談ください。

農村振興課 ☎ 89-3113



福祉の職場 出張相談

新潟県福祉人材センターでは、人材を必要とする福祉施設等を対象に、就労希望者の紹介等の求人相談を行います。

また、福祉の職場への就労希望者を対象に、仕事内容や必要な資格の取得方法、就職活動などについての求職相談を行います。

予約は必要ありませんので、お気軽にご相談ください。

- ◆場所 長岡市社会福祉センター
(長岡市水道町3-50-30)
- ◆日時 毎月第3金曜日 10時～15時
※第3金曜日が祝日の場合はその前日に実施
- ◆対象 中越地域の住民・福祉施設・社会福祉協議会
- ◆問い合わせ 新潟県社会福祉協議会内
福祉人材センター
☎025-281-5523



今年度は、社会福祉協議会で行う「生き生きサロン」、JA川口で行う「健康教室」と協力して、高齢者の支援事業を実施します。

申込み・問い合わせ
生活福祉課福祉係
☎89-4419
在宅介護支援センター
☎89-3974

5月の「地区のつどい」日程

期 日	時 間	地 区	会 場	主 催
5月7日(火)	9時30分 ～ 11時30分	東川口	生涯学習センター	在宅介護支援センター
5月10日(金)		和南津・中山	和南津集落開発センター	
5月14日(火)	西川口	西川口集落開発センター		
5月15日(水)	9時30分～15時	前原	前原会館	JA川口
5月16日(木)	9時30分 ～ 11時30分	木沢	木沢集落開発センター	在宅介護支援センター
5月21日(火)		上川	相川サンウッド	
5月29日(水)		田麦山	田麦山会館	

携行品 健康手帳
※各地区の参加希望者で送迎の必要な方はご連絡ください。

介護予防・生活支援事業を実施しています

いつまでもこの町この家で まめにいられるために



町では、高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活を送ることができるように介護予防・生活支援事業を実施しています。

サービスの内容を知っていただき、さらに多くの皆さんにご利用いただくために、シリーズで介護予防・生活支援事業の概要を紹介していきます。
今回は、「介護予防教室」です。

介護予防教室

「地区のつどい」「転倒骨折予防教室」「食生活改善指導」の3つの事業を随時実施します。

●地区のつどい

家に閉じこもりがちになると精神的、身体的機能が低下します。手作業(作品づくり)、体操、学習会などを通して、仲間づくりやいきいきとした生活が送れるよう支援します。

●転倒骨折予防教室

高齢者の骨折は「寝たきり」の

原因にもなります。日頃から軽い運動を行い身体機能の低下を防ぐことで予防できます。

65歳以上の高齢者を対象に理学療法士による運動指導を行います。

●食生活改善指導

高齢者の食事では、必要なエネルギー量が不足したり栄養が偏りがちになります。

65歳以上の単身高齢者や高齢者世帯の特に男性の方を対象に栄養指導を行うとともに実際に調理実習を行います。

ねたきりのお年寄りの介護手当を支給しています

町では、在宅でねたきりのお年寄りを介護している家族等に介護手当を支給しています。

■支給対象者

6か月以上にわたり日常生活(歩行・食事・入浴・排せつ・徘徊等)において常時家族等の介護が必要で、次のいずれかに該当する人の家族等

・介護保険法に基づく要介護認定を受けた人で、要介護3以上に認定された人

・障害・痴呆性老人の日常生活自立度判定基準の重度・中度に該当する人

・身体障害者手帳1・2・3級または療育手帳Aの所持者

■支給額

月額5,000円

ただし、寝たきりのお年寄りが施設に入所したときなど、在宅で介護を要しない日が15日以上あった月は、支給の対象となりません。

在宅高齢者の訪問理美容サービスを実施します

町では、今年度から一般の理美容店に向くことが困難な在宅高

齢者等への訪問理美容サービスを実施します。

■支給対象者

次のいずれかに該当する方。

・65歳以上のひとり暮らしの高齢者

・65歳以上の高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者

・介護保険法に基づく要介護認定を受けた人で、要介護3以上に認定された高齢者

・障害・痴呆性老人の日常生活自立度判定基準の重度・中度に該当する高齢者

・身体の障害の等級が1・2級に認定された人

■サービスの内容

町の理美容店が利用者の自宅に訪問し、理容を行うための出張費を助成します。

理美容料金は、利用者の負担になります。利用できる回数は制限がありません。

申込み・問い合わせ

生活福祉課福祉係

在宅介護支援センター

☎89-4419
☎89-3974

新緑の中「キャンパス川口」オープン

皆様のご利用をお待ちしています

今春から「キャンパス川口」は心新たに、風の音が心地よく響く、くつろぎの木陰として、また安らぎの杜、学びの杜として、より一層皆様に親しまれる施設に変身します。



- 児童生徒の自然体験の場を提供します。
公園利用とセットに、インスタラクターによる自然学習と体験学習をオプションでご用意します。
・メニュー
森の生き物探検、山野草散策、工作教室など
- キャンプ場をご利用のお客様には、随時ミニイベントをサービします。
・子ども向けメニュー
工作教室、昆虫採取、キャンプファイヤーなど
・大人向けメニュー
山野草散策、食材野菜摘み体験、カラオケ大会など
- キャンプ場では、川口産の食材の販売サービスを行います。

- コテージの通年利用化を図り、雪国体験メニューを充実します。
・メニュー
雪道歩き体験、冬の生き物探検
歩くスキー散策など
- あなたのゴルフ上達に力をお貸しします。
・バンカー・グリーンの寄せ練習にワンホールを貸し切りできます。
・ゴルフ用品等のレンタルを無料サービスします。
- 平成14年度のゴルフ大会日程は次のとおりです。腕試しに気軽に参加ください。
・キャンパス川口カップ (春季)
5月26日(日)
町長杯 7月7日(日)
・キャンパス川口カップ (夏季)
8月25日(日)
・NT21パー3ゴルフ大会
9月28日(土)・29日(日)
・キャンパス川口チャンピオンシップ
10月27日(日)
- ピクニック広場ご利用のお客様に日よけパラソルを無料で貸し出します。
● 貸出用サイクリング車を整備します。
詳しくは公園施設管理センターまでお問い合わせください。
☎ 89-4171

温泉利用者数70万人突破

「キャンパス川口温泉」では、4月8日、平成9年8月のオープン以来4年7か月余りで、利用者数70万人を達成しました。

幸運な70万人目となった小千谷市の田中寛一さん(60)に星野町長から記念品と花束が贈られました。

家族3人で訪れた田中さんは、昨年の雪洞火ほたる祭に訪れてから温泉をよく利用するようになったそうです。「とてもうれしう」喜び、「これからも大いに利用したい」と話していました。



これからも職員一同、より良いサービスに努めますので、ぜひご来館ください。

地域での子どもたちの活動を支援します

川口町地域子ども活動支援事業がスタート

子どもたちが休日にいそいそと過ごせるように、児童・生徒を対象としたさまざまな体験・交流活動を実施する団体に対し、補助金を交付する「川口町地域子ども活動支援事業」がスタートします。

4月から学校週5日制がスタートし1か月が経過しましたが、いざ休みとなっても、子どもたちは休日の過ごし方がわからない場合が多いようです。

町では、そのような子どもたちが休日にいそいそと過ごせるように、「かわぐちっ子クラブ」をはじめ、「かわぐちっ子クラブ」をはじめ、イラスト、料理、登山、アウトドアと4つのクラブからなる「ウルトラかわぐちっ子クラブ」を平成14年度から立ち上げ、現在事業実施に向け作業しています。

しかし、行政がすべての児童・生徒に対して、さまざまな体験活動を提供するのは非常に困難です。そこで本年度から、児童・生徒を対象としたさまざまな体験・交流活動を実施する団体に対し、一定の補助金を交付する「川口町地域子ども活動支援事業」をスタートします。その制度の概要を説明します。

● 交付対象は：

町内に在住又は在勤の方で組織された団体を対象としています。地域の自治会・公民館・子ども会などを想定しています。※個人での事業実施はできません。

● 交付の対象事業は：

例年行なっている児童・生徒向けの事業は対象となりません。平成14年度に新たに子どもたちを対象とした事業を実施する団体に対して交付されます。

(例)

- ・ 子どもたちを対象とした昔遊び教室やハイキングなどの実施。
- ・ 例年行われている地区のボーリング大会に子ども部門を設けたなど。

※ただし、PTAの学年行事などは該当しません。

● 補助金額は：

1事業あたり最高で3万円まで交付します。補助率(総事業費に占める補助金の割合)は特に指定していません。補助金の使途は細かい規定があるので、お問い合わせください。

● 申込みは：

教育委員会が受付窓口になります。補助に必要な申請書類と詳しい補助の内容を説明しますので、事前に電話連絡の上、ご来庁ください。(5月31日(金)一次締切) 教育委員会 ☎ 89-2119



この制度を創設することにより、子どもたちが地域に溶け込み、さまざまな体験で家族と心れあい、いそいそとした生活を送れることを期待しています。家庭・地域行政が一体となって未来の川口町を築く子どもたちを育てていきましょう。





国民年金がらのお知らせ

平成14年度の国民年金は？

●国民年金の保険料額

13、300円

●国民年金の年金額

平成14年度の年金額は、平成13年の消費者物価指数が前年に比べ0.7%下落しましたが、現下の社会経済状態を考慮して、昨年、一昨年と同様に、特例法により据え置かれる予定になっています。
(厚生年金保険も同様の措置が取られる予定です)

●半額免除制度の導入

平成14年4月から、保険料全額を免除する制度に加え、保険料の半額を免除する「半額免除制度」が導入されます。

半額免除された場合の保険料額は月額6、650円になります。

●学生納付特例制度

対象者の拡大

これまで学生納付特例制度については、夜間・通信制の学生は対象に含まれていませんでしたが、平成14年4月からは対象となり、申請

して承認を受けられれば、夜間・通信制の学生も在学期間中の保険料の納付が猶予されます。

「免除制度」は、所得が少ないなどの理由により保険料負担が困難な人のために、申請することにより保険料が免除される制度です。全額及び半額免除、学生納付特例制度の手続きは、役場生活福祉課で手続きをしてください。

また、昨年全額免除、学生納付特例を受けていた方で今年度も免除を希望される方は、5月末までに手続きをお願いします。

どうやって納めればよいのか？

Q 私は国民年金の第1号被保険者です。保険料を納める用紙が、社会保険庁から送られてきましたが、同じような用紙が何枚もついてよくわかりません。どれを使って、どこで納めればよいのですか？

A 今まで、お住まいの市町村に納めていた国民年金保険料は、今年度から直接、国(社会保険庁)に納めていただくことになり、保険料を納めるための用紙(納付書)も社会保険庁から皆さんへ直接お送りしています。

今回お手元に届いた納付書は、

- ① 納付案内書(表紙)
 - ② 口座振替申請書
 - ③ 1年前納納付書
 - ④ 6か月前納納付書(前期分)
 - ⑤ 6か月前納納付書(後期分)
 - ⑥ 各月分納付書12枚
- (平成14年4月分から平成15年3月分まで)の順に一綴になっています。

1枚目の納付案内書には、保険料の金額や納付期限、納付場所や納付方法などが書いてありますので、是非、お読みください。

保険料を納める際使用する納付書は、3枚目以降となっています。折込である領収控、領収証書部分を領収済通知書に付けたまま、綴から切り離し、現金を添えて郵便局、銀行、農協などの窓口で納めてください。1年分又は6か月分を一括して納める「前納」をご利用いただく割引になり、たいへんお得です。

町を守る消防団新体制に



▲左から、団長 古田島俊雄さん、副団長 関 真佐道さん、関 正一さん

4月から町消防団(古田島俊雄団長以下243名)が新体制となりました。

火災や自然災害など万一のときに、私たちの力強い味方となって地域を守ってくれる消防団の皆さんを紹介いたします。(副分団長以上)

消防団新体制

(敬称略)

▽本部

団長 古田島俊雄(川口6)

副団長

関 真佐道(技術部長・牛ヶ島) 関 正一(予防部長・西倉)

分団長

中林 浩(訓練部長・川口3) 丸山 定夫(技術副部長・長坂) 森山 博(訓練副部長・田中) 山田登喜夫(予防副部長・川口7) 山田登喜夫(予防副部長・川口7)

分団長

上村 浩一(川口3)

副分団長

生越 千博(川口1) 大久保英晃(川口3) 喜多村 彰(上河原)

副分団長

星野 浩(牛ヶ首) 丸山 勝政(長坂)

分団長

▽第3分団Ⅱ上川・38人 分団長 広井 哲也(相川1)

副分団長

星野 政博(相川1) 丸山 裕幸(貝之沢)

▽第4分団Ⅱ西川口・55人 分団長

岡村 典雅(中新田)

副分団長

樋口 治一(山の相川団地)

副分団長

関 博之(新敷)

分団長

大淵 正博(前原)

副分団長

森山 鉄也(大谷内)

石坂 富雄(小高)

▽第6分団Ⅱ木沢、峠・16人 分団長

星野 晴男(木沢)

副分団長

星野 隆一(木沢)

星野総一郎(ラッパ隊長・木沢)

《新入団員》

▽第2分団

原芳樹(上河原)、小林賢一(八郎場)、覚張満(下村)、大村敏史(中山)、星野孝之(中山)

▽第4分団

浅間惣栄(川岸)、本間直樹(川岸)、中林鋭次(原新田)

▽第5分団

渡辺覚(大形)、小見友彦(大形)、森山義隆(田中)、笹崎友章(小高)、石坂淳一(小高)

住宅の解体工事には「届出」が必要です

5月30日から建設リサイクル法が施行され、一定規模以上の建築物解体工事等について分別リサイクルが義務付けられます。

また、その工事の発注者(家の建替などの工事を発注する人等)は、事前に分別解体等の届出が必須となります。

届出先 小千谷土木事務所庶務課行政係

☎ 83-0849

【対象となる建設工事の規模】

工事の種類	規模の基準
①建築物の解体	床面積80㎡以上
②建築物の新築・増築	床面積500㎡以上
③建築物の修繕・模様替	請負金額1億円以上
④その他の工作物に関する工事(土木工事など)	請負金額500万円以上

消火器整備費

補助事業のお知らせ

近年、増加する住宅火災に対し、初期消火の効果を高め防火意識の高揚を図るため、消火器整備費の一部を補助し、火災の被害を最小限にとどめることを目的とするものです。

川口町消防団員が、各世帯を訪問調査、幹旋します。

●対象範囲

・町内各世帯

●補助対象消火器及び補助額

- 川口町消防団員が幹旋する消火器
- ・粉末式ABC消火器6型
- 5、800円の半額
- ・粉末式ABC消火器10型
- 6、000円の半額

●実施期間

平成14年5月～6月まで

●問い合わせ

総務課 ☎ 89-3111

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112



小嶋一男 文化講演
極北ロマン紀行 ~22,000km大自然への挑

講演会では、アラスカやグリーンランドでの極限の寒さや、犬ぞりの犬との接し方など普段聞けない未知の世界の話に参加者は興味深く聞き入っていました。

また、コンサートはヴァイオリン・コントラバス・ピアノで構成され、とりわけコントラバスの深い音色は交流体験館の館内と聴衆に深い感動と共に響き渡っていました。

4月20・21日の両日、交流体験館「杜のかたらい」オープン2周年を記念した「杜のフェスタ2002」が開催されました。

20日には冒険家小嶋一男さんの「極北ロマン紀行22000km大自然への挑戦」と題し講演会が、21日には守門村の志田梨花子さんが出演し「マイコンサート2002・春」が開催されました。



「杜のフェスタ2002」開催

交流体験館2周年記念

9日は東川口保育園児13名、12日は西川口保育園児10名のちびっこ交通安全隊が参加し、交通安全の啓発物品をドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。

園児たちの「気をつけて運転してね」という呼びかけに、ドライバーの皆さん



春の全国交通安全運動（4月6日～15日）の一環として、4月9日に越後川口サービスエリア、12日には国道17号北堀之内除雪ステーションにおいて交通安全指導所を設置し、15日には泉水小学校で交通安全教室が行われました。



も「はい、わかりました」と答えてくれました。

園児たちの活躍に感謝するとともに、少しでも交通事故が減ってほしいことを願っています。

「ゆきかせ号」がやってきた

泉水小で交通安全教室

4月15日、泉水小学校で、県警ヘリコプターゆきかせ号を招き、交通安全教室が開催されました。

「空にも道があつて、ゆきかせ号も交通ルールを守っているんだよ」という機長のお話に、児童も熱心に耳を傾け、最後に大きな声で交通安全を誓いました。

4月21日、今年で5回目となるクリーン大作戦が午前8時から各地区一斉に行われました。

「なんでこんなところにゴミを捨てるんだろう？」と、ゴミをひとつ拾うたびにつぶやいていた人。袋いっぱいになり、どこか寂しげな表情を見せていた人。1時間あまりの時間でしたが、参加者全員が、いろいろな思いを抱きながら、自分のまちを「自然豊かなきれいな町に」と願ったクリーン大作戦でした。



「ルールを守って、安全運転してね」

春の交通安全運動実施

自分のまちをきれいに クリーン大作戦

西川口保育園
家族、隣近所の人たちのあたたかい応援で元気モリモリ！いっぱい遊んでいっぱい食べて大きくなるっね！



田麦山保育園
田んぼや、畑に囲まれた小さな保育園で、のびのびと元気に遊んでいます。

子どもは地域の宝もの。多くの人たちの慈しみの中で、健やかに育っていきます。

通園や散歩の途中で子どもたちに出会ったら声をかけてください。とびきりの笑顔を返してくれることでしょう。

もし、間違ったことや危ないことをしているのを見かけたら、心から叱ってください。

よその子どもを叱るのは勇気がいりますが、家族の方はきっと感謝してくれることでしょう。

家庭生活や保育園生活の足りないところを地域の皆さんに補っていただきながら、子どもたちの成長を見守っていききたいと思えます。



上川保育園
小さいけれど元気な私たちです。地域の中では、いつも大きく輝いていたいのです。ヨロシク！



東川口保育園 町の真ん中で1歳から6歳の子どもたちが元気に遊んでいます。心もからだも大きくな～れ！

保育園だより

「大きくな～れ！」

豊かな心と健康な体を育てていきましょー

皆さん、よろしくね！

4月3日、町内の4つの保育園で入園式が行われ、小さなかわぐちっ子が各地の保育園に仲間入りしました。

入園式で「〇〇組の〇〇さん」と呼ばれ、誇らしそうに返事をしていた園児たち。今では、顔の表情や身体の回りに漂っていた緊張感もなくなり、保育園の生活を楽しんでいきます。

ふるさとの味は健康のもと ②

山の幸・川の幸・里の幸
かわぐちのごっつお

がんも風豆腐だんご



すりおろしたれんこんが入っているので、シャキシャキした歯ごたえがあるがんもです。漢方としてのれんこんの効用は熱による炎症を鎮め、血のめぐりをよくし、加熱したものは胃を丈夫にし、吐気、下痢を止めると言われています。

●材料 (4人分)

- 木綿豆腐……………1丁
- れんこん……………約170g
- ねぎみじん切り……………大さじ3
- 黒いりごま……………大さじ1
- 塩……………小さじ1/3
- 大根おろし……………200g
- かいわれ……………1パック
- 天つゆ

- だし……………1/2カップ
- みりん……………大さじ2
- しょうゆ……………大さじ2
- 酒……………大さじ2

●作り方

- 豆腐はふきんに包み、手でくずしながら水気を絞る。れんこんは皮をむき、すりおろす。
- 調味料Aを一煮立ちさせ、天つゆを作る。
- ボールに豆腐、すりおろしたれんこん、ねぎのみじん切り、黒いりごま、塩を入れよく混ぜ合わせる。
- ③を8等分し、やや平らに丸く形を作る。
- 揚げ油を中温に熱し、④を入れ、表面がからりときつね色になるまで上下を返しながら揚げる。
- ⑥大根おろしとかいわれ、天つゆを添えて食べる。

●お問い合わせは次の食生活改善推進委員に
山崎しづえ (相川2) ☎89-2059
涌井 智子 (前原) ☎89-3803

いきいきギャラリー

～ドールハウス～

小 山 身枝子さん (川口5)



市販のものと木や布などで作る手づくりのものを組み合わせたメルヘンチックな人形の家です。ベッドやトイレ、お風呂など細かいものを作るのは大変ですが、出来上がりを楽しみにがんばって作っています。

短歌

雪晴れて穏やかな日の続きたり足もと軽く犬に付きゆく
青春をオリソピックに立ちむかふ若き等の技熱く見守る

森山 みえ
佐藤 美智

しっかりと男の児抱きし紙雛
母に似ておし早春の信濃川
艶やかに弥生の空の暮れなづむ
深雪晴越後三山すつきりと
賜はりし句集大事に春炬燵
雪ほたる誰かたづねて来る様な
雪つつくシャベルの音も春めきて
春めくと可愛い顔出し露の臺
浅春の大河の流れ止まること
煥を掻き味噌の香立てて餅焼きぬ
寒明けの雪の五尺に日が眩し

●老人クラブ俳句教室 5月15日(水) 末広荘
●公民館句会 6月9日(日) 生涯学習センター
※出句締切 午後1時

山田 チョ
岡村 佐和子
山田 久子
小西 シゲノ
山田 悦
喜多村 キヨ
星野 きの
関 よし
佐藤 信
渡辺 登子一
新宮 山紫

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！

企画商工課 ☎89-3112

みんなの広場



交流体験館を花いっぱい施設にしてみませんか。
「ボランティア実践講座」参加者募集！

かわぐち学びの里大学のボランティア実践講座では、昨年交流体験館の施設内にボランティアで花壇を作成し、花植えから花の管理まで、すべて参加者の手で行われました。
今年も花をさらに植え広げて行き、花いっぱい町民が集える楽しい施設にして行く予定です。
なお、夏には満開の花を見ながら、「お茶会」なども予定しています。

ボランティア実践講座の内容 (予定)

期 日	テ ー マ	内 容
5月		計画づくり、播種、育苗、花植えなど
6月～10月	花で飾ろう 交流体験館	水やり、草取りなどの花の管理 可能であれば花壇の周りの遊歩道作り
10月末		花の撤去、来年用の花の種とり 春咲きの球根植え

ますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。
◎申込み
交流体験館「杜のかたらい」
☎81-4404

元気です！かわぐちっこ ⑥

橋井 美月 ちゃん (大形 2歳)
おとうさん 和宏さん
おかあさん 清子さん



温泉に入るのが、とても大好き。
夏はプールや海に行くのを楽しみにしています。
川口温泉で見かけたら、「みっちゃん」とよんでね！

俳句

大内迪子先生選 老人クラブ俳句教室 (3月5日)

もてなしの地酒を酌みて雪見客
薄霞みつつ山肌のあらあらし
春の宵ゆき交ふ人のなつかしさ
向きあうて老いて阿吽の春炬燵
襟巻に老のおしゃれをちらと見せ
子等の声終日溢れ路地の春
雪壁のしずくの光春近し
病む膝の先に知ってる寒戻り
縁あって住みしこの地の雪五尺
雪囲外し隣を近くせり
寝ねし孫父似母似と春炬燵
松飾り焚き納めたる御神酒のむ
背丈より高き雪壁より氷柱
さづかりし命大事に老の春

山田 チョ
岡村 佐和子
山田 久子
小西 シゲノ
山田 悦
喜多村 キヨ
星野 きの
関 よし
佐藤 信
渡辺 登子一
新宮 山紫

藤田 節子
三輪 京子
鈴木 良仙
吉沢まさ子
宮 ヨキ
村山むら女
井浦 久二
丸山 トシ
丸山 好枝
覚張 次郎
上村たつお
星野知恵子
星野千恵子
小宮山トキ